

「3年間の英国栈橋巡りを終えて」
 のとりまとめにあたり
 PIERS 研究会会長 古土井光昭

20年ほど前に、井上聡史さん（政策研究大学院大学客員教授）が英国栈橋の魅力に熱く語るのを聞き、大いに興味を持ちました。3年前の正月のある会で、「興味を持つような人に声をかけ、見に行きましょう」と二人で盛り上がり、最初に栢原英郎さん（港湾協会名誉会員）に話しをすると、「ああ、いいよ、行こう！」となったのがPIERS研究会の始まりです。

英国では200年間に100本以上の栈橋が建設され、その間で起きた高波や火災による被害や老朽化を克服した58本の栈橋が現存しています。このうちの56本を3力年にわたって調査することができました。調査すればするほど栈橋の魅力が増し、英国の人々がどれだけ栈橋を愛し、海岸リゾートでの生活をエンジョイしているかについて深く感銘を受けました。併せて英国の人々が栈橋や海岸を楽しんでいるように、我が日本でも同様に楽しめないのかという思いが高まってきました。

本冊子は、これまでの3年間の調査に参加した31名のメンバーに共通する想いをとりまとめたものです。この機会にご一読いただいて、よりよい日本をつくるためにご活用いただければ、望外の幸せです。



報告書の構成（62ページ）

プロローグ 栈橋に魅せられて

I. 英国の栈橋の魅力

1. 英国の海岸を彩る栈橋
2. 海の上を歩くよろこび
3. 海上の劇場とサロン
4. 時間を忘れ楽しむ栈橋
5. 栈橋の構造美とデザイン
6. 被災を乗り越えてきた栈橋

II. 英国の海岸リゾート

1. 滞在型、通年型の海岸リゾート
2. 海岸と人が中心の街づくり
3. 海岸の崖や段丘を活かす街づくり
4. 海岸を目指す英国人の休暇
5. 高級ホテルからキャンプ場まで
6. 元気な地方の沿岸都市

III. 英国の栈橋から学んだこと

1. 生活の豊かさへのこだわり
2. 歴史遺産を継承する情熱
3. 海と広く付き合う
4. ビジネスとしての栈橋
5. 自己責任と政府の役割
6. 街づくり海岸づくり

IV. 改めて日本への提言

1. 暮らしの舞台となる海岸づくり
2. 年間を通して人々が滞在する海岸リゾート
3. 街づくりをリードする海岸マスタープラン
4. 市民や民間の創意と参画による海岸づくり

<参考>

- ・英国における海岸リゾートと栈橋の歴史の変遷
- ・3年間調査した栈橋の概要

FAX 03-5297-2152



F A Xによる購入申込書

申込者氏名 申込団体名	
御連絡先	団体の御担当者氏名
	所属等
	住所 〒
	電話 FAX
	E-mail
お申込部数	部

PIERS 研究会
 F A X お申込先
03-5297-2152
 〒101-0041 東京都千代田区
 神田須田町1-12-8 神田館702
 問合せ info@piers.jp

頒価
1部 1,500円
 送料実費
 5部以上お申込の場合は送料無料